



2019年3月期 決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員CFO 岡田 稔明
2019年5月10日

| 2019年3月期 実績

通期実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

| | 2018年3月期 実績 | 2019年3月期 実績 | 増減 |
|-------------|----------------|----------------|--------------|
| 登録車 | 132.6 | 109.7 | -22.9 |
| 軽自動車 | 30.9 | 25.6 | -5.3 |
| 国内合計 | 163.4 | 135.3 | -28.1 |
| 米国 | 670.9 | 659.7 | -11.2 |
| カナダ | 56.8 | 56.8 | +0.0 |
| ロシア | 7.7 | 8.1 | +0.4 |
| 欧州 | 40.2 | 32.1 | -8.1 |
| 豪州 | 55.7 | 41.7 | -13.9 |
| 中国 | 26.9 | 22.8 | -4.1 |
| その他 | 45.2 | 43.3 | -1.9 |
| 海外合計 | 903.5 | 864.6 | -38.9 |
| 合計 | 1,066.9 | 999.9 | -67.0 |

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

3

まず初めに、2019年3月期の実績についてご説明いたします。

連結販売台数の実績です。

海外については、

主力の北米市場において、新たに販売を開始した新型車アセント効果やクロストレックの好調持続などが寄与し、現地での小売販売は堅調に推移しました。

しかし、連結販売台数については、

年度前半に全面改良前であったフォレスターの出荷台数が減少したことなどにより、前年同期比 3万8千9百台の減少となる 86万4千6百台となりました。

国内については、

7月に全面改良を行ったフォレスターの販売が好調に推移したものの、インプレッサ、SUBARU XVおよびレヴォーグの販売が減少したことなどにより、前年同期比で2万8千1百台の減少となる、13万5千3百台となりました。

また、下期に発生しました品質問題に起因する生産台数減による影響もあり、合計で前年に対し6万7千台の減となる、99万9千9百台となりました。

通期実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

| | 2018年3月期 実績 | 2019年3月期 実績 | 増減 |
|------------------|----------------|----------------|-------|
| 連結完成車 販売台数 合計 | 1,066.9 | 999.9 | -67.0 |

(千台)

| | 2018年3月期 実績 | 2019年3月期 実績 | 増減 |
|------|----------------|----------------|-------|
| 米国生産 | 348.6 | 372.2 | +23.6 |
| 国内生産 | 701.2 | 617.0 | -84.2 |
| 合計 | 1,049.7 | 989.1 | -60.6 |

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

生産台数については、

当社群馬製作所において、品質最優先で生産・検査を行うことを目的に見直した操業条件を2018年秋以降継続していることや、

2019年1月に発生した電動パワーステアリング装置の不良部品発生に起因する操業停止に伴う影響などを含め、前年に対し6万6百台の減となる98万9千1百台となりました。

通期実績 連結業績

| | | (億円) | | | | |
|-----------------------------|-------|------------------------|-------------------------------------------|--------------------|---------------|---------------|
| | | 2018年3月期 実績 (a) | 2019年3月期 前回計画 (2019/2/7 発表値) (b) | 2019年3月期 実績 (c) | 増減 (c)-(a) | 増減 (c)-(b) |
| 売上高 | | (34,052) 32,327 | 31,200 | 31,605 | -722 | +405 |
| 国内 | | (6,686) 6,680 | 5,698 | 5,966 | -714 | +268 |
| 海外 | | (27,367) 25,647 | 25,502 | 25,639 | -8 | +137 |
| 営業利益 | | 3,794 | 1,850 | 1,955 | -1,839 | +105 |
| 経常利益 | | 3,799 | 1,930 | 1,962 | -1,837 | +32 |
| 税前利益 | | 2,973 | 1,920 | 1,958 | -1,015 | +38 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 2,204 | 1,400 | 1,478 | -725 | +78 |
| 為替レート | US\$ | ¥111 | ¥110 | ¥111 | -¥1 | +¥0 |
| | EURO | ¥130 | ¥129 | ¥129 | -¥0 | +¥0 |
| | CAN\$ | ¥87 | ¥84 | ¥85 | -¥2 | +¥0 |

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値：販売奨励金控除前

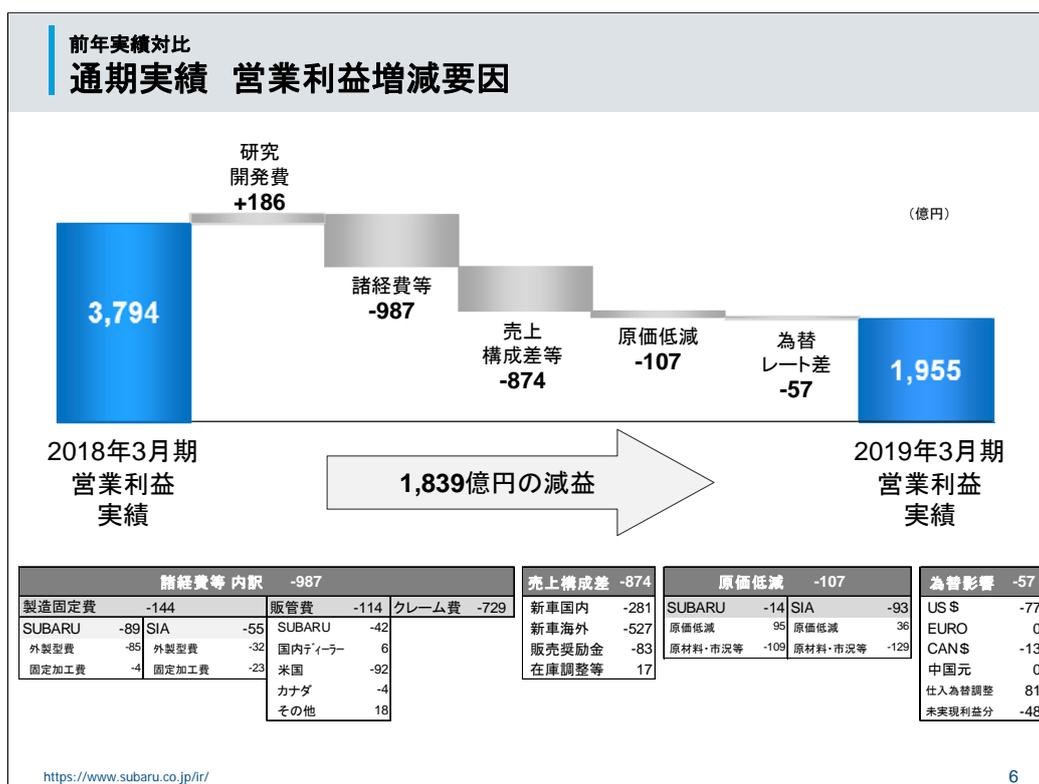
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

5

連結売上高は、販売台数減少を主因とした売上構成差の悪化 -438億円、カンパニー等-236億円、為替レート差-48億円により、前年同期比722億円の減収となる3兆1,605億円となりました。

営業利益につきましては、リコールを主因とした品質関連費用の増加および自動車売上台数の減少などにより前年同期比 1,839億円の減益となる 1,955億円となりました。

経常利益は、1,837億円の減益となる1,962億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、725億円減益となる1,478億円となりました。



続きまして、前期実績に対し1,839億円の減益となった主な要因をご説明いたします。

主な減益要因は、諸経費等の増加と売上構成差等の悪化です。

諸経費等につきましては、

バルブスプリングなどの大きなリコール費用が発生したことなどにより、クレーム費が増加しました。

売上構成差等については、

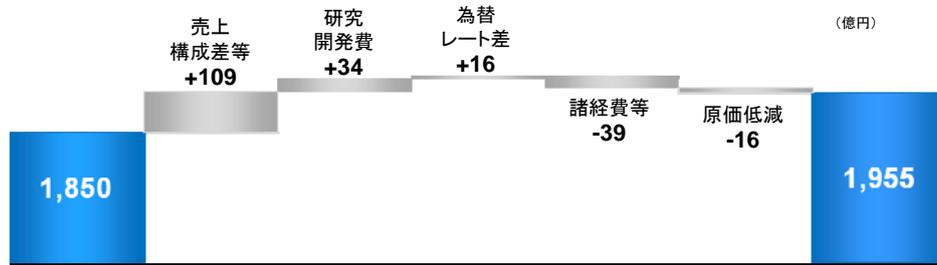
出荷台数の減少や、環境対応等のコストアップによる収益単価の減少、

電動車比率増加などが主な要因です。

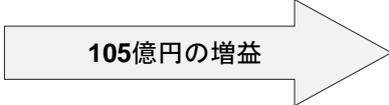
尚、米国の販売奨励金は、46億円増加となりました。

台あたりインセンティブは2,100ドルで、前年同期の2,000ドルから100ドル増加となりました。

前回計画(2019/2/7 発表値)対比
通期実績 営業利益増減要因



2019年3月期
 営業利益
 前回計画
 (2/7 発表値)



2019年3月期
 営業利益
 実績

| 売上構成差 109 | | 為替影響 16 | | 諸経費等 内訳 -39 | | | | 原価低減 -16 | |
|-----------|-----|---------|-----|-------------|----|-------|-----|----------|------|
| 新車国内 | 25 | US \$ | 34 | 製造固定費 | 43 | 販管費 | 109 | クレーム費 | -191 |
| 新車海外 | -40 | EURO | -3 | SUBARU | 20 | SIA | 23 | SUBARU | 31 |
| 販売奨励金 | 44 | CAN \$ | 3 | 外製型費 | -1 | 外製型費 | 2 | 国内ディーラー | 8 |
| 在庫調整等 | 80 | 中国元 | 0 | 固定加工費 | 21 | 固定加工費 | 21 | 米国 | -1 |
| | | 仕入為替調整 | -11 | | | | | カナダ | 13 |
| | | 未実現利益分 | -7 | | | | | その他 | 58 |
| | | | | | | | | SUBARU | -3 |
| | | | | | | | | SIA | -13 |
| | | | | | | | | 原価低減 | -8 |
| | | | | | | | | 原価低減 | 15 |
| | | | | | | | | 原材料・市況等 | 5 |
| | | | | | | | | 原材料・市況等 | -28 |

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

7

続きまして、前回計画に対する営業利益増減要因です。

ストップランプスイッチなどのリコールが発生しクレーム費が増えましたが、
 販管費や販売奨励金が減少したことなどにより、105億円の増益となりました。

通期実績 海外子会社業績

(Million US\$)

| SOA | 2018年3月期 実績 | 2019年3月期 実績 | 増減 |
|------------|----------------|----------------|-------|
| 売上高 | 18,402 | 19,114 | +712 |
| 営業利益 | 356 | 349 | -7 |
| 当期純利益 | 235 | 297 | +62 |
| 小売販売台数(千台) | 651.9 | 684.3 | +32.4 |

| SIA | 2018年3月期 実績 | 2019年3月期 実績 | 増減 |
|----------|----------------|----------------|--------|
| 売上高 | 7,673 | 8,887 | +1,214 |
| 営業利益 | 176 | 169 | -7 |
| 当期純利益 | 134 | 134 | 0 |
| 生産台数(千台) | 348.6 | 372.2 | +23.6 |

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

米国子会社の業績についてです。

SOAの小売販売は、クロストレックが引き続き好調に推移したこと、販売を開始した新型車「アセント」の台数寄与などにより、前年同期に対し3万2千4百台増の68万4千3百台となりました。

売上高は、前年同期比+712Mドルとなる19,114Mドル、営業利益は、数量・構成差+117Mドル、販管費の増-124Mドルにより、前年同期比-7Mドルとなる349Mドルとなりました。

SIAの売上高は、前年同期に対し+1,214Mドルの8,887Mドルとなりました。

営業利益は、数量価格構成差+126Mドル、原価低減活動-84Mドル、固定費-49Mドルにより、前年同期比-7Mドルとなる169Mドルとなりました。

設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

| | 2018年3月期 実績 (a) | 2019年3月期 前回計画 (2019/2/7 発表値) (b) | 2019年3月期 実績 (c) | 増減 (c)-(a) | 増減 (c)-(b) |
|-------|-----------------------|-------------------------------------------|-----------------------|---------------|---------------|
| 設備投資 | 1,414 | 1,300 | 1,135 | -279 | -165 |
| 減価償却費 | 898 | 930 | 888 | -10 | -42 |
| 研究開発費 | 1,211 | 1,060 | 1,027 | -184 | -33 |
| 有利子負債 | 862 | 1,000 | 1,004 | +142 | +4 |

* 2019年3月期より会計方針変更にともない、当社および国内連結子会社の一部の有形固定資産の償却方法を定率法から定額法へ変更。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

9

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。

2020年3月期 見通し (IFRS)

当社は2020年3月期 第1四半期報告から、国際財務報告基準 (IFRS)を任意適用いたします。

このため、2020年3月期の連結業績見通しはIFRSに基づき作成しております。

尚、IFRS任意適用に伴う連結財務諸表の変化点については参考(2)をご確認ください。

日本基準 / IFRS 主な差異

| 項目 | 日本基準 | IFRS |
|--------------------|------------------|-------------------------|
| 研究開発費 | 発生時に全て費用処理 | 資産計上の要件を満たす場合は、無形資産とし償却 |
| | 営業CFに含める | 資産計上の開発費は、投資CFに含める |
| 売上計上基準 (日本国内のみ) | 自動車の登録日に売上計上 | お客様への納車日に売上計上 |
| リース | ファイナンス・リースは資産計上 | オペレーティング・リースも一部資産計上 |
| | オペレーティングリースは営業CF | リース債務の返済は財務CFに含む |

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

続きまして、2020年3月期 通期計画についてです。

当社は、2020年3月期 第1四半期報告から、国際財務報告基準(IFRS)を適用いたします。
これに伴い、次ページ以降は、IFRSに基づき作成しております。

尚、IFRS適用に伴う主な変更点は、次の3項目です。

1)研究開発費

日本基準では発生時に費用処理をしていた研究開発費の一部について、
IFRSでは無形資産として計上し、償却します。

2) 売上計上基準

日本国内のみが変更となりますが、IFRSではお客様への納車日に売上計上いたします。

3) リース

一部のオペレーティング・リースについても、資産計上します。

その他詳細は、本資料の後半にあります参考資料をご確認ください

通期計画

連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

| | 2019年3月期実績 (a) | | 2020年3月期計画 | | ご参考 | |
|----------|----------------|----------------|----------------|--------------|----------------|---------|
| | 日本基準 | | IFRS | | 2020年3月期計画 (b) | 増減 |
| | | | | | 日本基準 | (b)-(a) |
| 登録車 (*) | 109.7 | 112.3 | 110.0 | +0.3 | | |
| 軽自動車 (*) | 25.6 | 28.2 | 27.6 | +2.0 | | |
| 国内合計 (*) | 135.3 | 140.5 | 137.5 | +2.2 | | |
| 米国 | 659.7 | 693.2 | 693.2 | +33.5 | | |
| カナダ | 56.8 | 60.0 | 60.0 | +3.2 | | |
| ロシア | 8.1 | 8.6 | 8.6 | +0.4 | | |
| 欧州 | 32.1 | 37.7 | 37.7 | +5.6 | | |
| 豪州 | 41.7 | 45.9 | 45.9 | +4.2 | | |
| 中国 | 22.8 | 25.2 | 25.2 | +2.4 | | |
| その他 | 43.3 | 47.2 | 47.2 | +3.9 | | |
| 海外合計 | 864.6 | 917.8 | 917.8 | +53.2 | | |
| 合計 | 999.9 | 1,058.3 | 1,055.3 | +55.4 | | |

* 日本基準: 登録基準、IFRS: 納車基準

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

連結販売台数については、105万8千3百台を計画しております。

前年度比較については、ご参考に掲載しております日本基準の台数をご覧ください。

各市場、前年に対しプラスを計画しており、

当社の主要市場である米国では、新型アセントやフォレスターの販売好調を主因とし、前年に対し3万3千5百台増を計画しています。

通期計画 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

| | 2019年3月期 実績 (日本基準) | 2020年3月期 計画 (IFRS) |
|------------------|-----------------------|-----------------------|
| 連結完成車 販売台数 合計 | 999.9 | 1,058.3 |

(千台)

| | 2019年3月期 実績 | 2020年3月期 計画 | 増減 |
|------|----------------|----------------|-------|
| 米国生産 | 372.2 | 388.7 | +16.6 |
| 国内生産 | 617.0 | 667.5 | +50.5 |
| 合計 | 989.1 | 1,056.2 | +67.1 |

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

13

尚、生産台数については、
前年に対し6万7千1百台の増となる105万6千2百台を計画しております。

通期計画 連結業績

(億円)

| | 2019年3月期 実績 (a) | | 2020年3月期 計画 | | ご参考 | |
|----------------------------------|--------------------|---------------|----------------|---------------|--------------------|---------|
| | 日本基準 | | IFRS | | 2020年3月期 計画 (b) | 増減 |
| | | | | | 日本基準 | (b)-(a) |
| 売上収益 (*1) | 31,605 | 33,100 | 33,020 | +1,415 | | |
| 国内 | 5,966 | 5,841 | 5,760 | -206 | | |
| 海外 | 25,639 | 27,260 | 27,260 | +1,620 | | |
| 営業利益 | 1,955 | 2,600 | 2,500 | +545 | | |
| 税引前利益 (*2) | 1,958 | 2,700 | 2,520 | +562 | | |
| 親会社の所有者に帰属する 当期利益 (*3) | 1,478 | 2,100 | 2,000 | +522 | | |
| 為替レート | US\$ | ¥111 | ¥110 | ¥110 | -¥1 | |
| | EURO | ¥129 | ¥120 | ¥120 | -¥9 | |
| | CAN\$ | ¥85 | ¥80 | ¥80 | -¥5 | |

*1 日本基準における「売上高」を「売上収益」と表示しております。

*2 日本基準における「税引前利益」を「税引前利益」と表示しております。

*3 日本基準における「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社の所有者に帰属する当期利益」と表示しております。

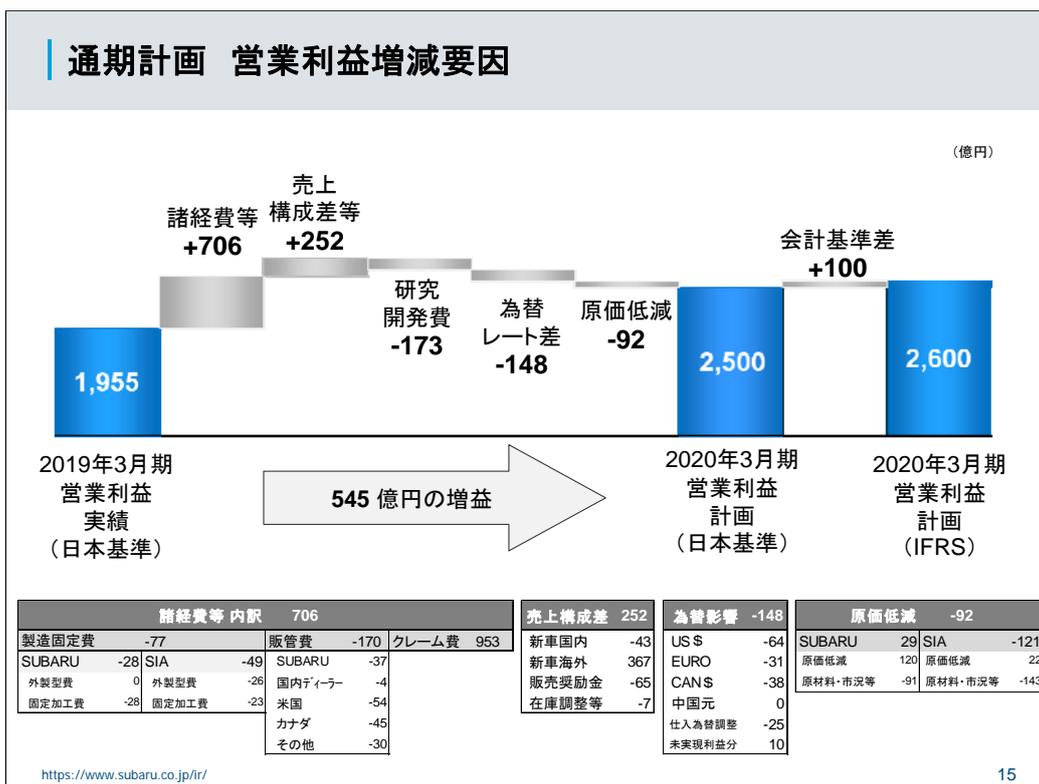
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

14

次に、連結業績計画です。

売上収益は、3兆3,100億円、営業利益は、2,600億円、
親会社の所有者に帰属する当期利益は2,100億円を計画しています。

こちらにつきましても、ご参考に日本基準との比較を掲載しておりますので、ご確認ください。



続きまして、営業利益増減要因についてです。まずは日本基準との比較で説明いたします。

主な増益要因は、クレーム費の減少と販売台数の増加による売上構成差等の改善です。

主な減益要因は、研究開発費の増加、販管費の増加、為替影響および原材料・市況等の悪化です。

尚、米国の台あたりインセンティブについては、

前年同期に対し100ドル増の2,200ドルとする計画です。

また、数量も増えることから、費用全体としては105億円増加する計画です。

尚、日本基準とIFRSの会計基準差は、+100億円です。

このうち、研究開発費の影響が約150億円です。

設備投資・減価償却費・研究開発支出・有利子負債

(億円)

| | 2019年3月期 通期実績 | 2020年3月期 通期計画 | 増減 |
|------------|------------------|------------------|------|
| 設備投資 (*1) | 1,135 | 1,400 | +265 |
| 減価償却費 (*1) | 888 | 1,000 | +112 |
| 研究開発支出(*2) | 1,027 | 1,200 | +173 |
| 有利子負債 (*1) | 1,004 | 1,450 | +446 |

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費およびリース負債は上記の実績・見通しに含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載しております。
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致します)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

16

最後に、設備投資、減価償却費、研究開発支出、有利子負債の計画は、ご覧の通りです。

尚、リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費およびリース負債については、従来通り、実績・見通しに含んでおりません。

また、研究開発支出については、報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載しており、日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致します。

IFRSでは、当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却します。そのため、IFRSの連結損益計算書上の「研究開発費」と異なりますので、ご注意ください。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で、2019年3月期決算の説明を終わります。

ありがとうございました

ご参考(1)

- ・連結貸借対照表
- ・連結キャッシュフロー
- ・連結営業外収支 / 特別損益
- ・セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・海外売上高
- ・単独販売台数
- ・第4四半期(3カ月) 連結業績
- ・生産台数 / 小売台数 推移

連結貸借対照表

(億円)

| | 2018年3月末 | 2019年3月末 | 増減 |
|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 総資産 | 28,665 | 29,827 | +1,163 |
| 流動資産 | 17,704 | 18,262 | +558 |
| 固定資産 | 10,960 | 11,565 | +605 |
| 負債合計 | 13,055 | 13,699 | +644 |
| 有利子負債 | 862 | 1,004 | +142 |
| 純資産合計 | 15,610 | 16,128 | +518 |
| 利益剰余金 | 12,835 | 13,202 | +366 |
| 自己資本 | 15,528 | 16,053 | +524 |
| 自己資本比率 | 54.2% | 53.8% | - |
| D/Eレシオ | 0.06 | 0.06 | - |

* 税効果会計基準の一部改正にともない、2019年3月期より算出方法を変更。比較年度についても同条件で算出。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

18

通期実績 連結キャッシュフロー

(億円)

| | 2018年3月期 実績 | 2019年3月期 実績 | 増減 |
|---------------------------------|----------------|----------------|--------|
| 営業活動CF | 3,663 | 1,740 | -1,923 |
| 投資活動CF | -1,507 | -1,583 | -76 |
| フリーCF | 2,156 | 157 | -1,999 |
| 財務活動CF | -1,709 | -966 | +743 |
| 換算差額 | -108 | 177 | +285 |
| 現金及び現金同等物の増減 | 338 | -633 | -971 |
| 連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額 | -5 | - | +5 |
| 連結子会社の決算期変更による 現金及び現金同等物の増減額 | 37 | - | -37 |
| 現金及び現金同等物 合計 | 7,656 | 7,023 | -633 |

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

通期実績 連結営業外収支/特別損益

(億円)

| | 2018年3月期 実績 | 2019年3月期 実績 | 増減 |
|---------------|----------------|----------------|-------------|
| 金融収支 | 68 | 129 | +61 |
| 為替影響 | -51 | -72 | -21 |
| その他 | -12 | -50 | -38 |
| 営業外収支 | 5 | 7 | +2 |
| 固定資産売却益 | 6 | 13 | +7 |
| 投資有価証券売却益 | 46 | 37 | -10 |
| 固定資産除売却損 | -54 | -56 | -2 |
| エアバッグ関連損失 | -813 | - | +813 |
| その他 | -11 | 3 | +14 |
| 特別損益合計 | -826 | -4 | +822 |

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

20

通期実績 事業セグメント別業績

(億円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|-------|--------------------|--------------------|------|--------------------|--------------------|--------|
| | 2018年 3月期 実績 | 2019年 3月期 実績 | 増減 | 2018年 3月期 実績 | 2019年 3月期 実績 | 増減 |
| 自動車 | (32,349) | 30,623 | -479 | 3,615 | 1,849 | -1,765 |
| 航空宇宙 | (1,422) | 1,422 | -105 | 123 | 60 | -62 |
| その他 | (282) | 282 | -138 | 51 | 38 | -12 |
| 消去・全社 | | | | 7 | 7 | +0 |
| 合計 | (34,052) | 32,327 | -722 | 3,794 | 1,955 | -1,839 |

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

21

通期実績 所在地別セグメント業績

(億円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | | |
|-------|--------------------|--------------------|--------|--------------------|--------------------|-------|--------|
| | 2018年 3月期 実績 | 2019年 3月期 実績 | 増減 | 2018年 3月期 実績 | 2019年 3月期 実績 | 増減 | |
| 日本 | (10,118) | 10,110 | 8,990 | -1,121 | 2,950 | 1,147 | -1,803 |
| 北米 | (21,928) | 20,276 | 21,037 | +762 | 694 | 669 | -25 |
| その他 | (2,006) | 1,941 | 1,578 | -363 | 72 | 34 | -37 |
| 消去・全社 | | | | | 79 | 105 | +26 |
| 合計 | (34,052) | 32,327 | 31,605 | -722 | 3,794 | 1,955 | -1,839 |

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

22

通期実績 連結海外売上高

(億円)

| | 2018年3月期 実績 | | 2019年3月期 実績 | 増減 |
|-----|----------------|--------|----------------|------|
| 北米 | (23,058) | 21,406 | 22,017 | +611 |
| 欧州 | (1,191) | 1,181 | 1,005 | -176 |
| アジア | (1,406) | 1,351 | 1,164 | -187 |
| その他 | (1,712) | 1,709 | 1,453 | -256 |
| 合計 | (27,367) | 25,647 | 25,639 | -8 |

* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

23

通期実績 単独販売台数

(千台)

| | 2018年3月期 実績 | 2019年3月期 実績 | 増減 |
|---------|----------------|----------------|-------|
| 国内生産 | 701.2 | 617.0 | -84.2 |
| 国内売上 | 168.9 | 140.7 | -28.2 |
| 登録車 | 137.2 | 114.4 | -22.8 |
| 軽自動車 | 31.7 | 26.3 | -5.4 |
| 輸出台数 | 556.5 | 491.5 | -65.0 |
| 海外生産用部品 | 348.1 | 403.0 | +54.8 |
| 単独売上合計 | 1,073.5 | 1,035.2 | -38.3 |

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

24

第4四半期(3ヵ月)実績 連結完成車販売台数

(千台)

| | 2018年3月期 4Q実績 | 2019年3月期 4Q実績 | 増減 |
|-------------|------------------|------------------|--------------|
| 登録車 | 34.9 | 29.8 | -5.1 |
| 軽自動車 | 9.7 | 7.0 | -2.7 |
| 国内合計 | 44.6 | 36.8 | -7.8 |
| 米国 | 161.9 | 163.8 | +1.9 |
| カナダ | 12.3 | 9.6 | -2.8 |
| ロシア | 2.1 | 1.6 | -0.5 |
| 欧州 | 11.7 | 6.2 | -5.5 |
| 豪州 | 13.6 | 6.0 | -7.6 |
| 中国 | 5.4 | 6.1 | +0.8 |
| その他 | 13.4 | 7.6 | -5.8 |
| 海外合計 | 220.4 | 201.0 | -19.5 |
| 合計 | 265.0 | 237.8 | -27.3 |

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

25

第4四半期(3ヵ月)実績 連結業績

(億円)

| | 2018年3月期 4Q実績 | | 2019年3月期 4Q実績 | | 増減 |
|---------------------|------------------|-------|------------------|------|----|
| 売上高 | (8,406) | 7,949 | 7,831 | -118 | |
| 国内 | (1,840) | 1,838 | 1,608 | -230 | |
| 海外 | (6,565) | 6,111 | 6,223 | +111 | |
| 営業利益 | | 731 | 419 | -313 | |
| 経常利益 | | 768 | 392 | -376 | |
| 税前利益 | | 797 | 378 | -419 | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 675 | 296 | -379 | |
| 為替レート | US\$ | ¥110 | ¥110 | +¥0 | |
| | EURO | ¥134 | ¥126 | -¥8 | |
| | CAN\$ | ¥88 | ¥83 | -¥4 | |

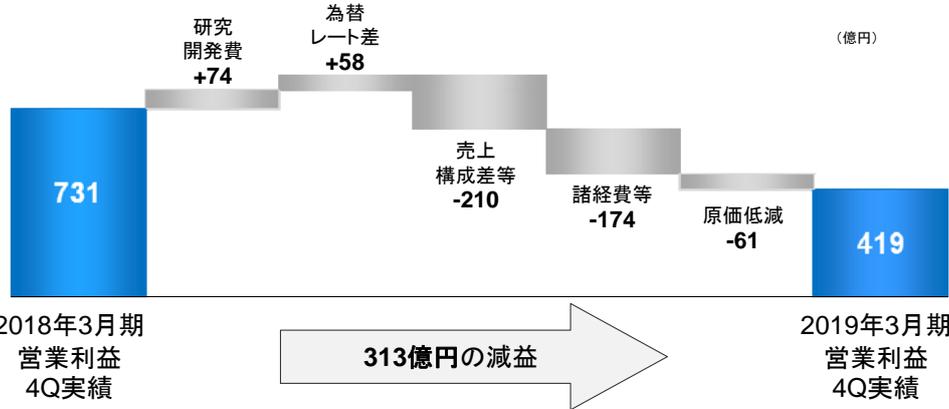
* 2019年3月期より会計方針変更(売上高から販売奨励金を控除)。比較年度についても同条件で算出

* カッコ内数値：販売奨励金控除前

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

26

前年実績対比
第4四半期(3カ月)実績 営業利益増減要因

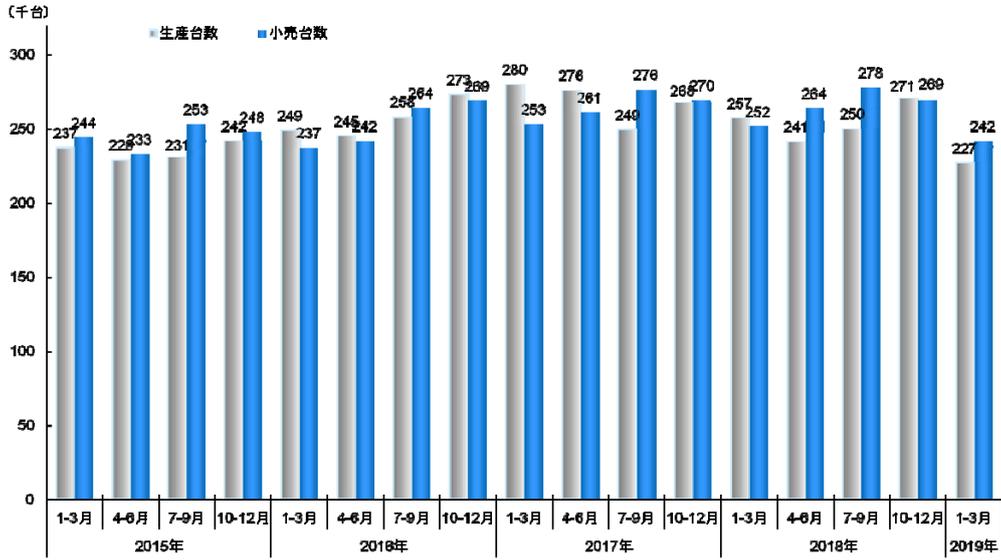


| 為替影響 | 58 | 売上構成差 | -210 | 諸経費等 内訳 | | | | | -174 | 原価低減 | | -61 | |
|--------|----|-------|------|---------|-----|-------|-----|---------|------|---------|-----|---------|-----|
| US\$ | 5 | 新車国内 | -76 | 製造固定費 | -15 | 販管費 | -23 | クレーム費 | -136 | SUBARU | -6 | SIA | -55 |
| EURO | -5 | 新車海外 | -218 | SUBARU | -2 | SIA | -13 | SUBARU | -2 | 原価低減 | 36 | 原価低減 | 9 |
| CAN\$ | -6 | 販売奨励金 | 33 | 外製型費 | -24 | 外製型費 | -5 | 国内ディーラー | 6 | 原材料・市況等 | -42 | 原材料・市況等 | -64 |
| 中国元 | 0 | 在庫調整等 | 51 | 固定加工費 | 22 | 固定加工費 | -8 | 米国 | -27 | | | | |
| 仕入為替調整 | 49 | | | | | | | カナダ | -3 | | | | |
| 未実現利益分 | 15 | | | | | | | その他 | 3 | | | | |

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

27

生産台数 / 小売台数 推移



* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

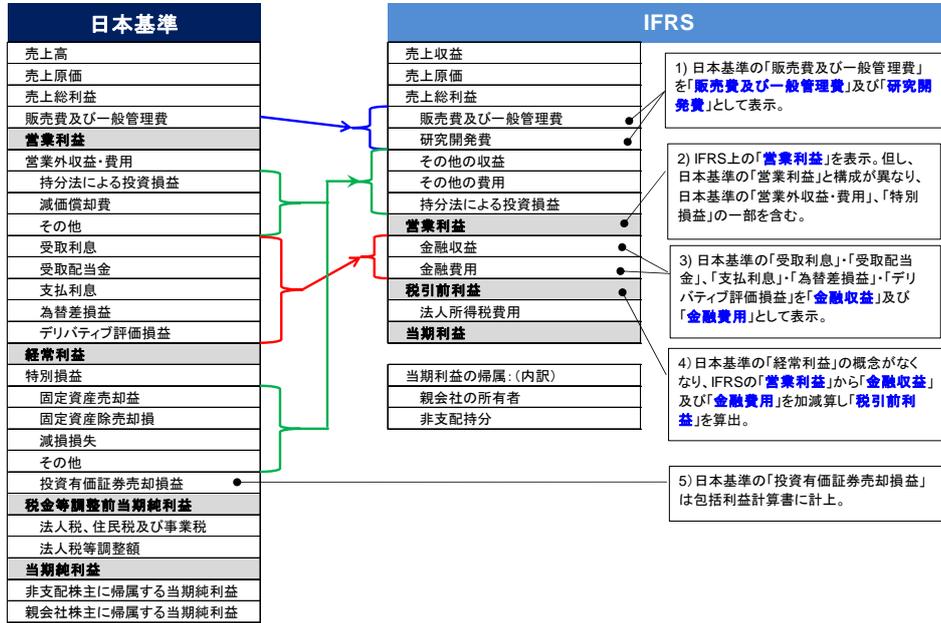
28

ご参考(2)

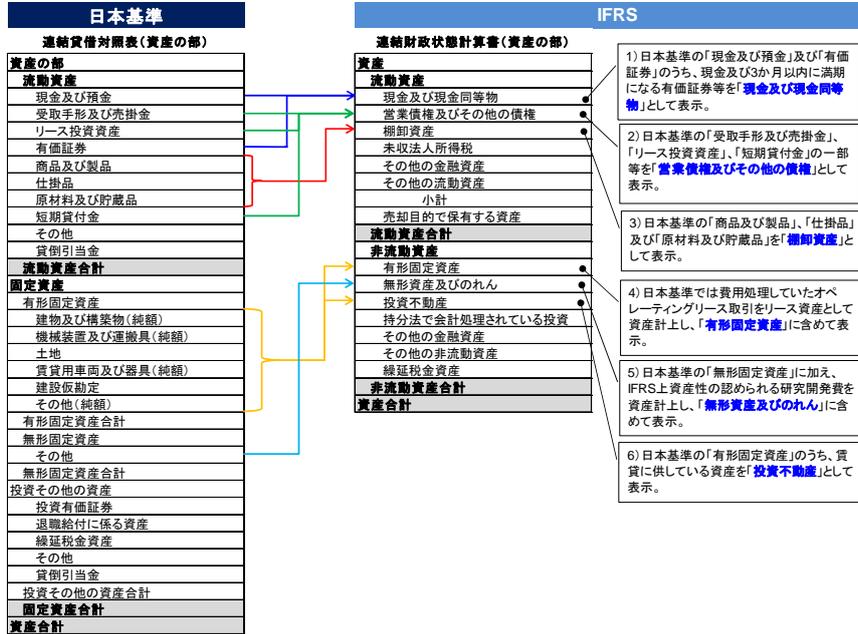
IFRS任意適用に伴う連結財務諸表の変化点

当該情報は確定前の情報であるため、後日公表する当社の実際のIFRSに基づく連結財務諸表と異なる可能性があります。

連結損益計算書



連結財政状態計算書(資産の部)



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

連結財政状態計算書(負債及び資本の部)

| 日本基準 | IFRS |
|--------------------------|----------------------------|
| 連結貸借対照表(負債及び資本の部) | 連結財政状態計算書(負債及び資本の部) |
| 負債の部 | 負債及び資本 |
| 流動負債 | 負債 |
| 支払手形及び買掛金 | 流動負債 |
| 電子記録債務 | 借入金 |
| 短期借入金 | 営業債務及びその他の債務 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | その他の金融負債 |
| 未払法人税等 | 未払法人所得税 |
| 賞与引当金 | 引当金 |
| 製品保証引当金 | その他の流動負債 |
| 工事損失引当金 | 流動負債合計 |
| 事業終了損失引当金 | 非流動負債 |
| その他 | 借入金 |
| 流動負債合計 | その他の金融負債 |
| 固定負債 | 従業員給付 |
| 長期借入金 | 引当金 |
| 繰延税金負債 | その他の非流動負債 |
| 製品保証引当金 | 繰延税金負債 |
| 役員退職慰労引当金 | 非流動負債合計 |
| 退職給付に係る負債 | 負債合計 |
| 長期前受収益 | 資本 |
| その他 | 親会社の所有者に帰属する持分 |
| 固定負債合計 | 資本金 |
| 負債合計 | 資本剰余金 |
| 純資産の部 | 自己株式 |
| 株主資本 | 利益剰余金 |
| 資本金 | その他の資本の構成要素 |
| 資本剰余金 | 親会社の所有者に帰属する持分合計 |
| 利益剰余金 | 非支配持分 |
| 自己株式 | 資本合計 |
| 株主資本合計 | 負債及び資本合計 |
| その他の包括利益累計額 | |
| その他の包括利益累計額 | |
| 為替換算調整勘定 | |
| 退職給付に係る調整累計額 | |
| 在外子会社のその他退職後給付調整額 | |
| その他の包括利益累計額合計 | |
| 非支配株主持分 | |
| 純資産合計 | |
| 負債純資産合計 | |

- 1) 日本基準の「支払手形及び買掛金」、「電子記録債務」等を「**営業債務及びその他の債務**」として表示。
- 2) 日本基準の「賞与引当金」、「製品保証引当金」、「工事損失引当金」、「事業終了損失引当金」を「**引当金**」として表示。
- 3) 日本基準の「役員退職慰労引当金」及び「退職給付に係る負債」等を「**従業員給付**」として表示。
- 4) 日本基準の「製品保証引当金」等を「**引当金**」として表示。
- 5) 日本基準の「退職給付に係る調整累計額」及び「在外子会社のその他退職後給付調整額」を「**利益剰余金**」に含めて表示。
- 6) 日本基準の「その他の包括利益累計額」及び「為替換算調整勘定」を「**その他の資本の構成要素**」として表示。

連結キャッシュフロー

| 日本基準 | |
|-----------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 現金等価物前当期純利益 | |
| 減価償却費 | |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | |
| 受取利息及び受取配当金 | |
| 支払利息 | |
| 固定資産売却損益(△は益) | |
| 投資有価証券売却及び評価損益(△は益) | |
| 営業貸付金の増減額(△は増加) | |
| 売上債権の増減額(△は増加) | |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | |
| 未払費用の増減額(△は減少) | |
| その他 | |
| 小計 | |
| 利息及び配当金の受取額 | |
| 利息の支払額 | |
| 法人税等の支払額 | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の純増減額(△は増加) | |
| 有価証券の取得による支出 | |
| 有価証券の売却による収入 | |
| 固定資産の取得による支出 | |
| 固定資産の売却による収入 | |
| 投資有価証券の取得による支出 | |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | |
| 貸付けによる支出 | |
| 貸付金の回収による収入 | |
| その他 | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の増減額(△は減少) | |
| 長期借入れによる収入 | |
| 長期借入金の返済による支出 | |
| 自己株式の取得による支出 | |
| 配当金の支払額 | |
| その他 | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 現金及び現金同等物に属する換算差額 | |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | |

| IFRS | |
|-----------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 取引前当期利益 | |
| 減価償却費及び償却費 | |
| 金融収益 | |
| 金融費用 | |
| 持分法による投資損益(△は益) | |
| 営業債権及びその他の債権の増減(△は増加) | |
| 棚卸資産の増減(△は増加) | |
| 営業債務及びその他の債務の増減(△は減少) | |
| 引当金及び従業員給付に係る負債の増減(△は減少) | |
| その他 | |
| 小計 | |
| 利息の受取額 | |
| 配当金の受取額 | |
| 利息の支払額 | |
| 法人所得税の支払額 | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | |
| 有形固定資産の売却による収入 | |
| 無形資産の取得及び内部開発にかかわる支出 | |
| その他の金融資産の取得による支出 | |
| その他の金融資産の売却ないし回収による収入 | |
| その他 | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の増減(△は減少) | |
| 長期借入れによる収入 | |
| 長期借入金の返済による支出 | |
| 自己株式の売却による収入 | |
| 自己株式の取得による支出 | |
| 親会社の所有者への配当金の支払額 | |
| リース負債の返済による支出 | |
| その他 | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 現金及び現金同等物の為替変動の影響額 | |
| 現金及び現金同等物の増減(△は減少) | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | |

- 1) 日本基準では費用処理されていたオペレーティングリース取引をリース資産・リース負債にオンバランスし、このうちの減価償却費を「**減価償却費及び償却費**」に含めて表示。
- 2) 日本基準の「製品保証引当金の増減額」及び「その他」に含まれる引当金の増減等を「**引当金及び従業員給付に係る負債の増減**」として表示。
- 3) 日本基準の「固定資産の取得による支出」を「**有形固定資産の取得による支出**」と「**無形資産の取得及び内部開発に係る支出**」として表示。
- 4) 日本基準の「有価証券の取得による支出」を「投資有価証券の取得による支出」と「貸付けによる支出」を「**その他の金融資産の取得による支出**」として表示。
- 5) 日本基準の「有価証券の売却による収入」を「投資有価証券の売却及び償還による収入」と「貸付金の回収による収入」を「**その他の金融資産の売却ないし回収による収入**」として表示。
- 6) 日本基準では費用処理されていたオペレーティングリース取引をリース資産・リース負債にオンバランスし、このうちリース負債の返済を「**リース負債の返済による支出**」として表示。



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>